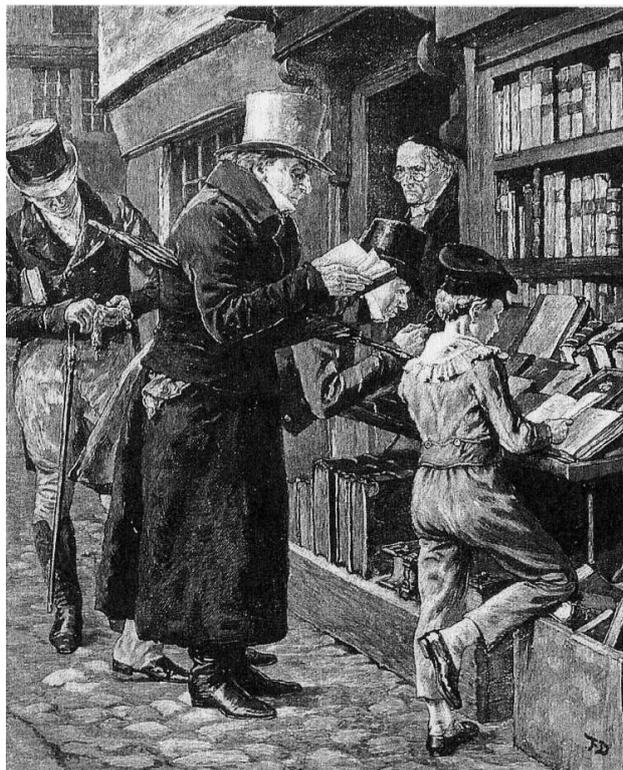


# 知識は 旅をする

千葉県立東部図書館だより  
2007年6月  
第22号

## 本を読む人シリーズ(22)

古今東西の本を読む人を紹介するシリーズです。



「ロンドンの古書店で」(1898年イギリス)

好きな書物を渉猟することの喜びは捨てがたい。

熱心に書物を選んでいる大人に混じって、立ち読みの少年もいる。

(『図説 本と人の歴史事典』～柏書房～)

## ■ トピックス

### ▼ 展示コーナーからのお知らせ

7月からの展示は「川柳発祥250年」(1757年8月25日柄井川柳が立机)を予定しています。

### ▼ 利用者アンケートについて

5月15日から29日までの期間中、多くの皆様にご協力いただきありがとうございました。  
ご意見等は今後の参考にさせていただきます。

### ▼ 名作映画鑑賞会

毎月第3土曜日に名作映画鑑賞会を開催しています。詳しくは、7ページをご覧ください。  
なお、7月は21日に、9月は15日に上映し、8月はお休みとさせていただきます。

目	次
館長就任のあいさつ～子どもたちの読書環境	……2
図書館の仕事～相互貸借の話	……3
図書館ぶらり散歩(22)～青の本	……4
図書館の達人(9)～施設紹介5『館内貸出用パソコン』の利用	……5
参考図書カフェ(1)～旅に出たくなる地図	……6
レファレンスあれこれ(22)～『矢指浦(十返舎一九)』の解題/資料	……7
名作映画鑑賞会のご案内～『メリー・ウイドウ』『僕の村は戦場だった』	……7
行ってみよう！近くの施設(22)～東庄町図書館	……8

ホームページURL

<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/>

携帯電話サイトURL

<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/m/>



## 子どもたちの読書環境

千葉県立東部図書館長 熱田恒雄

私が本に親しむようになったのは小学校に入ってからでした。貧しい家には絵本などなく、小学一年の担任の先生が、よく絵本の読み聞かせをしてくださいました。テレビの無い時代であったので、カラーの絵と先生のお話で、私たちの心はすっかり夢中になっていました。あれが私にとってのブックスタートだったと思います。

また書物に囲まれた生活に憧れを持つようになったのも小学校高学年でした。父が集めたと思われる、農家には少し不釣り合いな全集ものが書棚にたくさん並べられており、旧漢字でつづられた吉川英治の「宮本武蔵」を、辞書を頼りに読んだりもしたものです。

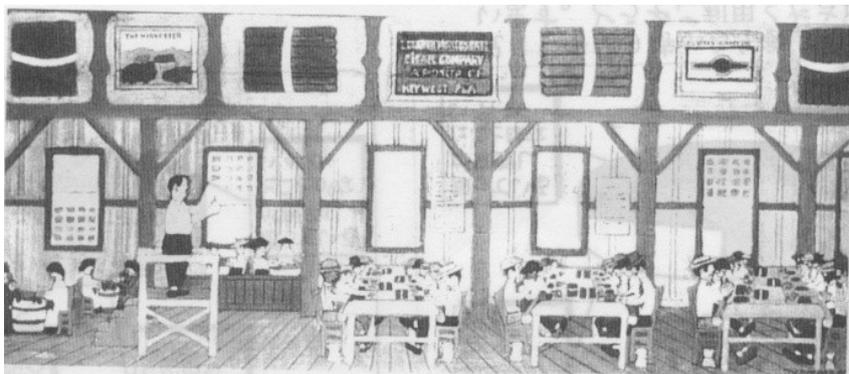
振り返ってみますと、こうした小さいころの本との出会いが、その後の本との親しみを深くさせてくれたのだらうと思います。

さて、最近の読書事情が読売新聞の調査で、昨年の秋に「20代の『本離れ』進む」という見出しで報告されていました。それによりますと、一ヶ月間に一冊も本を読まなかった人が全体としては3%減の49%でしたが、20歳代の「読まなかった」者が7%増の48%ということで、若者の本離れが進んでいることを報告しています。この記事では、こうした本離れの歯止め策として「家庭での読書習慣の形成」と「学校での読書教育の充実」が有効であることも指摘しております。

家庭での読書習慣の形成については、ブックスタートなどの取組みが各地で始められていますが、学校での読書活動の充実も重要です。その状況については、文部科学省から本年4月に「学校図書館の現状に関する調査結果について」として報告されています。全校一斉の読書活動は、全国の小学校の93%が実施しており、中学校でも81%が実施しています。こうした点から、子どもの読書活動が活発化していることがわかりますが、それを支える読書環境が、十分でないことも指摘されています。このことは「学校図書館図書標準」の達成状況で推測されますが、それによりますと、平成17年度末では小学校で40%、中学校は34%という状況です。学校図書費が地方交付税として措置されているにもかかわらず地方自治体の厳しい財政状況が反映しているものと言わざるを得ません。

子どもたちが本来持っている素直な心を育てるには、本の持つ力は大きいものと思います。読書環境を充実させて豊かな心を育てていくことは大人達の責務であり、学校や家庭での読書環境をより充実させていただきたいと思います。

私も東部図書館におきましても、こうした状況を踏まえ、市町村図書館のサポートを通して、学校支援や家庭支援を進め、心豊かな子どもたちの育成に、更に積極的に関わっていきたくと考えております。



《朗読会》マリオ・サンチェス作(『読書の歴史 あるいは読者の歴史』～柏書房～)

<図書館の仕事>

# 探して 取り寄せます

## ～相互貸借の話～

読みたい本があるので図書館に来た。でも、探している本がない。そんなとき、どうしますか？

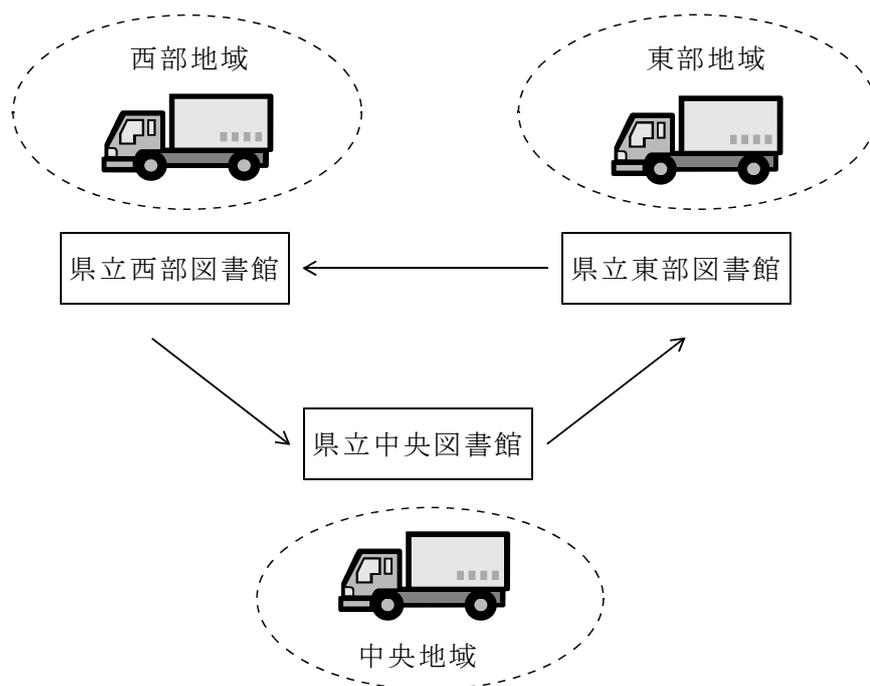
そんなときはカウンターに相談してください。図書館では、できるだけ利用者の皆様のご希望に添うように、本を探して、取り寄せます。

## どんなふうが届くの？

千葉県では、図書館が互いに所蔵していない資料を提供し合う相互貸借システムが活用されています。ですから、県内のどこに住んでいても他の市町村の図書館や公民館図書室等から資料を取り寄せることができます。

千葉県立東部図書館から、週3回、地域の図書館等を回る車が出ています。水曜日は香取・横芝光・匝瑳、木曜日は銚子・東庄・旭、金曜日は東金・山武方面を回ります。また、その他に県立中央図書館(千葉市)・県立西部図書館(松戸市)との間に週2回車が走っています。この2館もそれぞれの地域の図書館等を車が回っているので、県内のどこの図書館の資料も、わざわざ所蔵している図書館まで行かなくても利用することができるのです。

県内にない場合は、他の県の県立図書館や国立国会図書館から取り寄せることもできます。



## 青の美術史

小林康夫／著 1999 ポーラ文化研究所

[7023-28]

## 青の系譜:古事記から宮澤賢治まで

今西浩子／著 2002 東信堂

[9102-88]

その昔、「青」はその顔料・染料の希少さから、高貴な色、高貴なものを表現するために使われていた。そんな絵の具としての「青」や、美術史上「青」が表現していたものの変遷を追った『青の美術史』。

また、日本文学の中に表された「青」を研究した『青の系譜』。この本では、「白馬(あをうま)の節会」の馬は何色だったのかなど、日本文学(日本語)が「青」と言ったときに、実際には何色を指していたのか、どんな状態を表していたのかなどの、主に日本語としての「青」の表現の変遷を論じている。

# 青の本

図書館ぶらり散歩(22)

## 藍色のベンチャー 上・下

幸田真音／著 2003 新潮社

[9136-3728-1/2]

江戸時代末期、彦根城下の古着商絹屋半兵衛が開窯した湖東焼(ことうやき)。湖東焼は、彦根藩の藩窯として召し取られ黄金期を迎える。しかし、茶人としても名高い幕末の大老井伊直弼(13代彦根藩主)が桜田門外の変で暗殺されると急速に衰退する。1枚の藍色の皿に魅せられた著者が、時代に翻弄され短命に終わった幻の窯を描いた経済歴史小説。

## カリフォルニア・ブルー

デイヴィッド・クラス／著 1996 新潮社

[933-741] (書庫)

北カリフォルニアのアメリカ杉の林で、高校生ジョンは青い蝶のさなぎと出会う。ジョンが住む所は製材所の町。新種の蝶の発見は、町の住民と森林や野生生物の保護団体との対立へと発展する。製材所に勤める父との葛藤や彼を助ける高校の生物教師への想いなど、悩みながらも自分の信念を大事に生きていく若者の姿を描く。

[ ]内は請求記号です。

## 青いバラ

最相葉月／著 2001 小学館

[62777-13] (書庫)

『絶対音感』で小学館ノンフィクション大賞を受賞した著者による、受賞後第1作の書き下ろしノンフィクション。

この世に青いバラはないと言われているが、世界中の育種家たちが遺伝子組み換え技術により青いバラを作ろうと試みている。「不可能を可能にする」ことに違和感を覚えた著者が、文学中の青いバラのイメージ系譜、バラ育種の歴史、バイオテクノロジー略史等、膨大な取材に基づく情報を提示して読者に問う。“幻のバラ”を現実のものにすることは許されるのかと。本書には京成バラ園芸の研究所長を務め、「ミスター・ローズ」とまで呼ばれたバラ育種家、鈴木省三との対話も収められている。彼の発した「青いバラができたとして、それが本当に美しいと

思いますか」という言葉が重く響く。

デニム・バイブル グラハム・マーシュ／著 2006

ブルース・インターアクションズ [3831-82]

インド藍によって青く染められたデニム。綿糸の表面だけが染まり、中心は染まらないため、生地が使い込まれるごとに色落ちし、風合いが深まっていく。世界中で愛されるデニムの歴史を紹介。ジーンズのデザイン、ファッションのほか、経済、産業とデニムの関係、各社の広告、企業戦略などまで、カラー写真をふんだんに掲載し説明している。

## 空中ジーンズ工場

RRRファクトリー／編 1998 筑摩書房

[58921-4]

1996年末から翌年2月、ジーンズを愛する3人の若者が、相次いでホームページを立ち上げた。一方1997年4月、1人のジーンズ工場経営者兼縫製職人もまたホームページを使って、自作ジーンズの通販を開始する。4人はネット上で知り合い、なぜか一緒にジーンズを作ることになってしまった。「空中ジーンズ工場」の誕生。お互いに顔も知らない4人だが、ジーンズをデザイン、製作し、販売までこぎつけることができるのか?

# 図書館の達人

## 施設紹介5 『館内貸出用パソコン』の利用

『館内貸出用パソコン』を、館内貸出用パソコン優先席でご利用いただけます。

このパソコンではMicrosoft Office (Word、Excel、Access、Power Point)が利用できます。

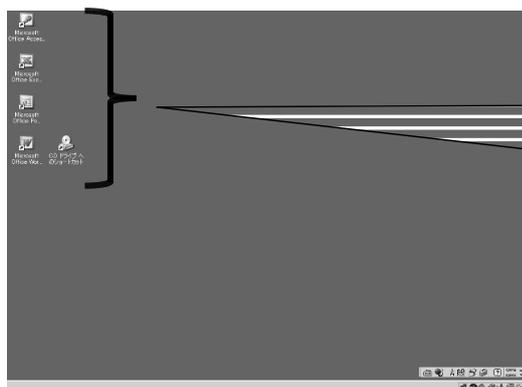
まず、『資料貸出券』をご用意ください(『館内貸出用パソコン』を利用するには図書館の利用登録をお願いしています)。持ち込みの媒体(フロッピーディスクやUSBメモリが使用できます。CD-RやDVD等への書き込みはできません)があればウイルスチェックをしますので、職員にお渡しください。

利用できる時間は1人1時間以内です。ただし、次の利用者がいない場合は延長手続きをしてご利用いただけます。

### 持参したファイルを開くには

『館内貸出用パソコン』は情報やパソコンの保護のため、プロテクトが施されています。

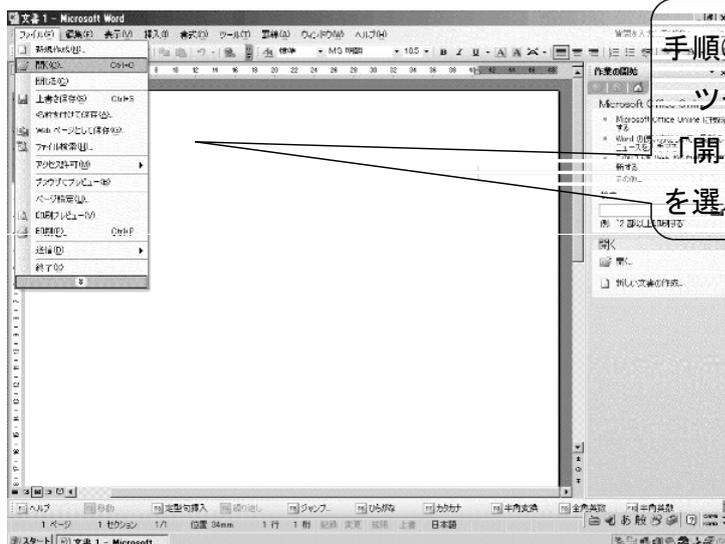
“右クリックが使えない”“メニューが表示されない”“アイコンが表示されない”等の制限があります。お持ちになったファイルを開くには、まず利用したいソフトを立ち上げてからファイルを開いてください。



#### 手順①

利用したいソフトのアイコンをダブルクリックします。

CD-ROM等を開くには「CDドライブへのショートカット」をクリックしてください。



#### 手順②

ツールバーの「ファイル (F)」から「開く (O)」でお持ちになった媒体を選んでファイルを開いてください。

パソコンの終了の仕方  
パソコンの電源を切断する必要はありません。  
終了したらカウンターへお越しください。

\* インターネットの接続、ファイル転送、ハードディスクへの保存、画面の印刷、ハンディーコピー、スキャナ等の使用はできません。



## 参考図書カフェ (1)



「旅に出たくなる地図 日本 新訂版」

「旅に出たくなる地図 世界 新訂版」

帝国書院編集部／著 帝国書院 2006

東部図書館には、多くの参考図書があります。基本的な辞典や辞書はもちろんですが、なかなかユニークな資料もたくさんあります。

今回紹介する「旅に出たくなる地図 日本 新訂版」は、まるでガイドブックのように写真とイラストが満載です。＜巻頭特集＞では、「春を愛でる旅」「名物郷土料理」「旅先で一献酒どころ」、＜旅を楽しむ資料編＞では、「新日本百名山」「日本の寺百選」など、本当に旅に出たくなります。

「旅に出たくなる地図 世界 新訂版」は「ヨーロッパ音楽の旅」「世界自然遺産の旅（アジア）」など特集が組まれています。「映画の舞台」や「サミット」「自動車レース（地図にコースも掲載）」開催地の索引があるのも特徴的です。

旅行先を決めかねている時など、是非眺めてみて下さい。



＜富士の国 関東・甲信を訪ねて＞

長野県の上高地、埼玉県の川越、千葉県の屏風ヶ浦など写真がたくさん。

地図を見ると、東部図書館の近所では、クジラ・イルカウォッチングが紹介されています。

ローマは多くの映画の舞台になりました。

「自転車泥棒」

「終着駅」

「ベン・ハー」

「ローマの休日」



参考図書は、何か特定の知識・情報について調べるための資料です。辞書や百科事典、便覧、統計書などで、小説のように通読するものではなく、言葉が50音順に並べられていたり、索引が用意されていたりと必要な部分を簡単に探し出せるように編集されています。

短時間で簡潔な知識を得るのに便利です。

東部図書館では、より多くの方が利用できるように個人貸出しはしていません。図書館内をご利用ください。



## レファレンスあれこれ (22)

資料に関する調査・相談にお応えしています。過去に寄せられたご相談の事例をご紹介します。

十返舎一九(じっぺんしゃいっく)作『矢指浦(やさしがうら)』の解題または内容のわかる資料を探している。

### 【調査経過】

- ① 『国書総目録』をみると、前編3巻後編3巻の黄表紙で文化3年成立、京大、慶大、東北大狩野文庫、都立中央図書館加賀文庫、大東急記念文庫で版本を所蔵していることがわかった。
- ② ①には解題や内容は記されていないため、『国書解題』や古典文学関係の事典、参考図書、千葉県関係資料を調べたが記載はなかった。
- ③ 次に、十返舎一九関係の資料や黄表紙に関する資料を調べた。『鑑賞日本古典文学第34巻洒落本・黄表紙・滑稽本』の巻末参考文献より『黄表紙解題』という資料があることがわかった。また、『近世書籍研究文献目録』の黄表紙の項より『黄表紙総覧』などの資料があることがわかった。
- ③ 『黄表紙解題』(続編とあわせると対象は安永4年から寛政4年間)は『矢指浦』の成立年代に該当しないので、『黄表紙総覧』の中に記述があるか所蔵している県立中央図書館へ問い合わせたところ、後篇、図録篇に載っていることがわかり当館へ取り寄せをした。

この資料には解題とあらすじが載っており、内容は下総国戸川の里見家のお家騒動と敵討ちの物語で、図版篇では絵題箋と袋の図版を見ることができます。

### 【提供図書】〔県立中央図書館所蔵〕〔 〕内は請求記号です

『日本書誌学大系48-3 黄表紙総覧 後篇』(棚橋正博著 青裳堂書店 1989年)  
[020.8-N71-48(3)]  
『日本書誌学大系48-5 黄表紙総覧 図録篇』(棚橋正博著 青裳堂書店 2004年)  
[0208-1-48-5]

### ●担当者のコメント●

古い書物は実物の閲覧が困難なことが多く、当館への取り寄せもできませんが、複製や活字に翻刻されたものを探したり、今回のように解題を調べることもできます。

### 名作映画鑑賞会のご案内



毎月第3土曜日に、名作映画鑑賞会を開催しています。(入場無料)  
併せて、13時から「日本を縦断する映像発表会」作品も上映しています。  
どうぞ足をお運びください。(8月はお休みです。)

※来館又は電話でお申し込みください。

開 場:午後0時50分～  
ビデオ上映:午後1時～  
映 画 上 映 :午後1時30分～

場所:東部図書館3階 研修室

★ 7月21日(土) 『メリー・ウイドウ』

監督:エルンスト・ルビッチュ/主演:モーリス・シュヴァリエ  
(1934年 アメリカ モノクロ 105分)

★ 9月15日(土) 『僕の村は戦場だった』

監督:アンドレイ・タルコフスキー/主演:ニコライ・ブルリャーエフ  
(1962年 ソビエト モノクロ 94分)

# 天保水滸伝の町の温かい図書館

～ 東庄町図書館 ～



国道356号線を銚子から香取方面へ向かっていく途中、案内板を目印に左に入っていくとすぐ、体育館や小学校、町役場、公民館の集まった一角があります。JR成田線笹川駅からは、徒歩15分ほどのところですが。

公民館の2階にあるのが、東庄町図書館です。音楽ホールのような重厚な扉がその入り口です。

東庄町図書館が、現在のように公民館2階に設置されたのは、昭和59年のことですが、それ以前の歴史もかなり古く、また、人々の町への強い思いを感じます。大正15年、青年たちの研修の場がほしいと考えていた青年団の人たちが、時の皇太子(後の昭和天皇)のご成婚を記念して図書館を作ることを町に要望し、資金を集め、笹川小学校校庭に図書館を落成して、町へ移管(寄付)したのです。町民の手で作られた図書館は、その後も温かい雰囲気を保っています。

図書館に入るとすぐに手洗い場があり、「手を洗ってから本を読む」ことが、自然にできるようになっています。読み捨てられてしまうような本ではなく、町の人々にいつまでも読み継

がれる本を揃えようという、職員のポリシーによって収集された本が、公民館2階の限られたスペースを有効に活用できるよう、きれいに整理整頓されて、書棚に並んでいます。書棚や壁面、カウンターの周辺は、職員手作りの装飾や図書紹介等の掲示物が、明るく落ち着いた居心地のよい空間にしています。



手洗い場周辺も職員手作りの図書紹介コーナーになっている

建物の向かい側に小学校があるので、放課後や休日には子供たちが多く訪れます。そのため、子供を対象にした行事も多く、毎年、「子ども読書の日」には、講師を招いて、読み聞かせの講座を行います。また、毎月第2土曜日には、ボランティアグループ「たんぽぽ」による子供お話会が催されています。

近くには天保水滸伝遺品館、笹川繁蔵の碑や平手造酒の墓のある延命寺等があるので、足を伸ばしてみてもいいでしょう。

◆所在地 香取郡東庄町笹川い 4713-11  
(Tel 0478-86-1221)

◆開館時間 9:00 ～ 16:30

◆休館日 毎月第3日曜日  
祝日・年末年始

## ■ 県立図書館の資料は、市町立図書館などを通じて利用することもできます。

お近くの図書館、あるいは公民館図書室等の読書施設にご相談ください。

## ■ 県立図書館では、千葉県に関する資料を収集しています。

グループ・職場などで資料を発行されたときには、情報をお寄せください。

### 編集長の独り言

今年も南の国からツバメが来て、車庫の庇に巣をつくりました。人見知りする親ツバメの故郷は都会ではなさそうですが。今回は2回も巣が落ちて失敗。大変残念です…。

編集・発行：千葉県立東部図書館

〒289-2521 千葉県旭市ハの349

TEL 0479-62-7070

URL : <http://www.library.pref.chiba.lg.jp>